



コロナ禍での 縄文体験

文化財センターでは5月2日と3日の2日間、「縄文体験の日」を開催しました。

今回は新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、規模を縮小し、事前申し込み制でおこないました。体験メニューは5月2日が縄文クッキーとドングリを使った工作（カレンダー、時計）、3日がミニ土器、土笛、まが玉。さらに両日とも午前の部と午後の部とわけておこないました。

親子や家族、お友達と一緒に参加された皆さんは楽しいひとときをすごされていました。



▲テーブルを仕切った縄文クッキー作り

「美浦かるた」で知るみほの文化財

今回の札は
「け」

ケンケンと 雉鳴く里の 馬頭様

歩いたり、車で通行していると、昔

からある道の脇などで石造物を見かけることがあります。馬頭観音は観音様の頭に馬を乗せているという特徴のある仏像ですが、村内でみられるのは長方形の石に、「馬頭観音」という文字が刻まれたもので、馬とかかわりのある生活の中で建てられたものです。

村史編さん委員会による石造物調査が昭和59年におこなわれ、その成果は『美浦村石造物資料集』として刊行されています。

調査により村内で923もの石造物が確認されました。石で造られた物にはさまざまな種類がありますが、数量的に多いのは、近世から昭和初期にさかんに美浦村を含む周辺地域でおこなわれていた大師講にもなう大師像で108体あります。十数年前までは毎年4月初旬に大勢の人が巡拝していた様子を目にすることができました。

各地区でおこなわれていたさまざまな講とよばれる民間信仰にもなう石造物も多くあります。

庚申講にもなう庚申塔は43体、女性の信仰として月待講や観音講があり、それにもなう十九夜塔や二十三夜塔なども村内各地に多くみられます。家の形に見える道祖神もよく見かけます。

石には仏の形を彫り込んだものや文字を刻んだもの、側面には建立の年月日や建立した人の名が刻まれていたりします。年号は江戸時代から明治時代にかけてのものが多くみられます。

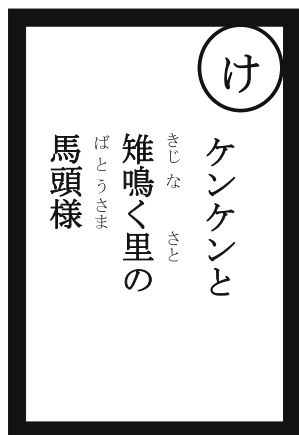
また道しるべもいくつか確認されています。道しるべが立っている場所は人が往来した道であり、そこが分岐点であった場所です。例えば木原地区に残されているものには

右阿んば
左阿んぢう 道

と文字が刻まれています。「阿んば」は稲敷市の阿波、「阿んぢう」は安中を指します。村内に残る道しるべの多くに阿波を指し示す「阿ばみち」「阿バ道」といった文字が刻まれています。江戸時代には阿波が交通の要所の一つ

だったのでしょう。

ふと目にした石造物が地域の歴史を知るきっかけになるかもしれません。



〈引用参考文献〉

『美浦村石造物資料集』（昭和61年）
『ふるさと美浦の民俗』（平成11年）

美浦かるたは美浦村の魅力を紹介しているから
たです。図書室で借りることが出来るほか、美
浦村HPでもすべての絵札と読み札をみるこ
とができます。



▲お互いに距離をとって黙々と
縄文土器作り。完成は表紙を見て！



▲どんぐりカレンダーが
完成。やった～！



▲扉や窓を開け、マスクをして
縄文クッキー作りを説明

木原城址のパンフレットができました

～ 刊行物のごあんない～

木原城址をもっと知りたい！という方におすすめのパンフレットです。

城山公園から木原小学校、さらにその周辺は戦国時代に築かれた木原城のエリアです。近年、木原城に関わる史料も少しずつ見つかってきています。村指定となった城主近藤利勝の肖像画（「絹本着色近藤利勝像」）もそのひとつです。パンフレットは肖像画など新たな情報を加えたオールカラーの冊子で、文化財センターにて1部100円で頒布しています。

また、文化財センターでは通年村内遺跡の整理作業をおこなっており、調査した遺跡の成果を報告書として刊行し、そのデータや情報をもとにして展示をはじめとする活用事業につなげて広く一般の方々がわかるようなかたちで公開しています。

陸平貝塚に隣接するゴルフ場にあった木の根田遺跡と内出遺跡の整理が終了し、このたび報告書を刊行しました。次号では報告書をもとに調査成果をわかりやすくご紹介する予定です。また、今年度は文化財センターにて両遺跡を取り上げた展示も予定しています。

文化財センターでは美浦村誌、陸平貝塚など美浦村の歴史や民俗といった文化財に関する書籍やオリジナルグッズを購入することができます。陸平をヨイショする会がおこなっている炭焼き活動で作った竹炭なども取り扱っています。

お問い合わせは文化財センターへ。



▲どんぐりで時計とカレンダーを作ったよ



▲しずくのような形の玉を作りました。



▲縄文土器の模様をつけているところ。



体験のご案内



文化財センターでは、「縄文体験の日」のように日にちを決めて募集する体験のほかに参加者のご希望による体験の受け入れもおこなっています。体験は事前に申込みが必要です。お気軽にお問合せください。なお新型コロナの感染拡大予防等によりご希望に添えない状況が生じる場合もあります。

<体験メニュー>

土器、ミニ土器、土笛、縄文食、縄文クッキー、まが玉、さき織り、どんぐりカレンダー、どんぐり時計、貝塚調べ

※体験メニューにより所要時間や料金などが異なります。
粘土で作る土器や土笛は約1か月後のお引渡しになります。



◆お問合せ・申込み 文化財センター ☎886-0291 ※月曜休館

梅朝基礎落語

好文亭梅朝さんの落語で笑って楽しいひとときを！申し込みが必要です。

日にち 6月27日(日)
開演 午後1時30分から
場所 文化財センター
対象 県内にお住まいの方
定員 20名 ※要申込
申込み 6/1 から文化財センターへ
電話 886-0291

※当日、参加可能な場合もあります。お問合せください。

文化財センターにご来館される皆様へお願い

新型コロナウイルス感染拡大予防のためご協力をお願いいたします。



- ・マスクのご着用
- ・文化財センターの出入り口にて手・指の消毒
- ・体調が優れない場合はご来館を見合わせましょう。
- ・職員が非接触温度計にて検温をさせていただくことがあります。

イノシシ注意

陸平貝塚公園内ではイノシシ捕獲のためにワナをしかけている場所があります。目印で表示してありますので進入しないようお願いいたします。

イノシシは夜間に行動していることが確認されています。



陸平貝塚公園までの交通アクセス

【車】 by car
常磐自動車道「糞土浦IC」より
国道125号バイパスで約40分
圏央道「稲敷」より15分

【バス】 by bus
JR土浦駅より西口①バスのりば
木原経由江戸崎行き
「谷津入」下車 タクシーで約5分
または「大谷」下車 3.5km

